

### 馬にのる・馬を飾るための道具

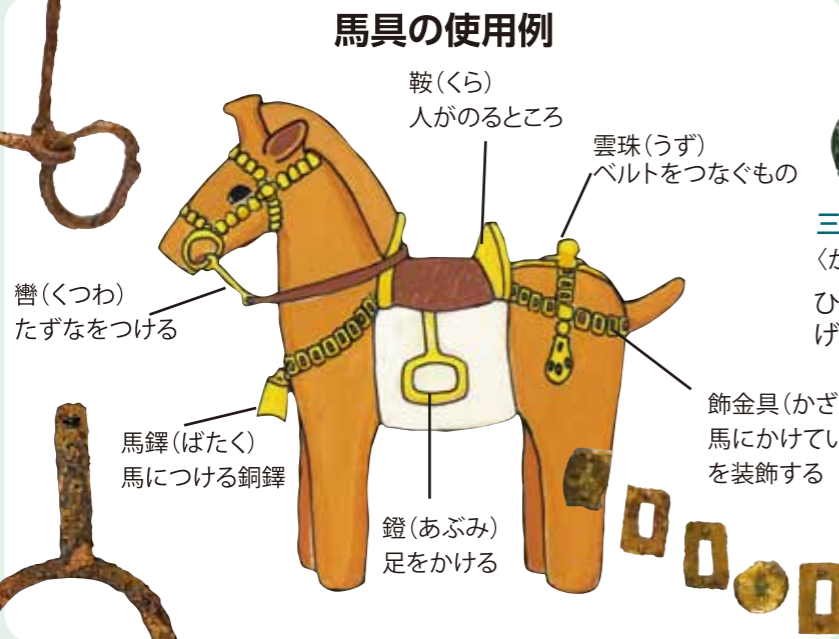
山梨には4世紀末ごろの早い時期から馬がもたらされました。県内の古墳からは大変多くの馬具が見つかっています。馬具は金銅で飾られ、7世紀後半まで副葬されました。平安時代に朝廷ご用達の馬の飼育場「牧」がおかれたり、中世は武田氏の騎馬兵の活躍など、山梨と馬は古代から深い縁があります。



横長さ16.5cm  
**轡(くつわ)**  
〈平林2号墳 笛吹市〉  
県指定文化財



**鐙(あぶみ)**  
長さ31.5cm  
〈かかん塚古墳 甲府市〉



#### 馬具の使用例

鞍(くら)  
人がのるところ

雲珠(うず)  
ベルトをつなぐもの

轡(くつわ)  
たずなをつける

馬鐙(ばたく)  
馬につける銅鐙

鐙(あぶみ)  
足をかける

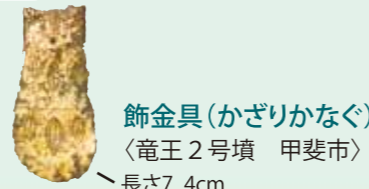
飾金具(かざりかなぐ)  
馬にかけているベルトを装飾する



私たち飾り馬(=はにわ)のおかげで、どのように使われていたか分かるのです。



幅11cm  
**三環鈴(さんかんれい)**  
〈かかん塚古墳 甲府市〉  
ひもに通して、どこかにつり下げていたと考えられます。



**飾金具(かざりかなぐ)**  
〈竜王2号墳 甲斐市〉  
長さ7.4cm

### 装飾するための道具



幅1.5cm  
**鏡片**  
〈長田口遺跡 南アルプス市〉



鏡は簡単に割れてしまいます!これは割った鏡を再利用して首飾りとして使ったものです。



直径2.9cm  
**金環(きんかん)**  
〈双葉2号墳 甲斐市〉

古墳時代の後半に多い耳飾りです。

### 儀式の道具2



最長17.4cm  
**鈴釧(すずくしろ)**  
〈大塚古墳 市川三郷町〉  
県指定文化財  
10個の鈴が付いた釧(=腕輪)



直径17cm  
**輪宝(りんぼう)**  
〈甲府城跡 甲府市〉

地鎮の時に使用された道具。

### 木を切る・削る・加工する道具



正面 横側  
長さ28cm  
**短冊型**



正面 裏側  
長さ12cm  
**鉄斧(てつぷ)**  
〈大丸山古墳 甲府市〉  
有袋型



手斧(ちょうな)  
全長51cm  
〈大丸山古墳 甲府市〉



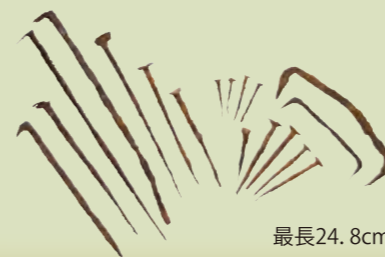
山梨県ではこの1点のみ発見され、刃先から柄まで全て鉄で作られています。全国で14例ありますが、それらと比べてもとても素晴らしい製品です。



長さ31.4cm  
**鋸(のこぎり)**  
〈寺所遺跡 北杜市〉  
古墳時代に既に登場していた鋸は、中世後半から大型のものへと発展します。



長さ24cm  
**刀子(とうす)**  
〈上:大師東丹保遺跡 南アルプス市  
下:寺所遺跡 北杜市〉  
今の小型ナイフと同じような道具です。木簡に書いた字を直すときこれで削って消しました。古代の役人の必須アイテムです。



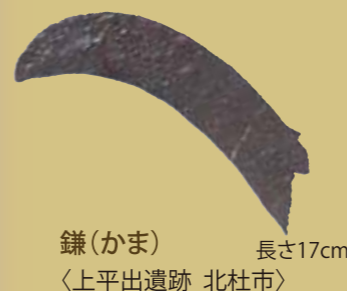
最長24.8cm  
**和釘とかすがい**  
〈甲府城跡 甲府市〉

### 畑仕事の道具

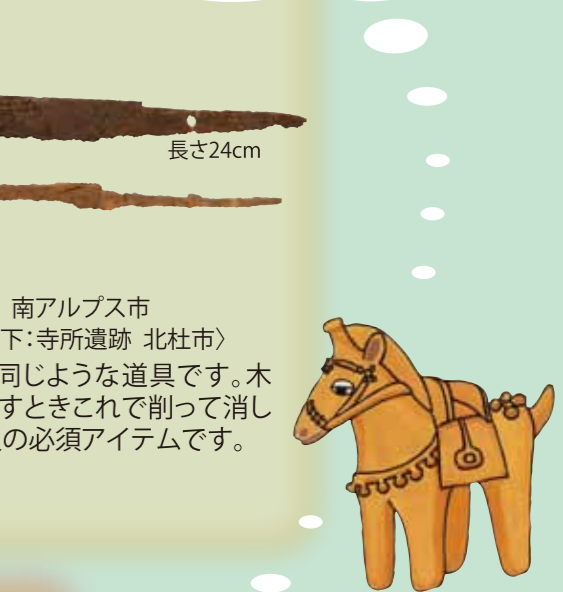


幅16cm  
**鋤先(すきさき)**

〈左:上平出遺跡 北杜市 右:二之宮遺跡 笛吹市〉  
古墳時代前期は長方形の鉄板の両端を折り曲げた形でした。写真は5世紀半過ぎから使われ始めた形です。



長さ17cm  
**鎌(かま)**  
〈上平出遺跡 北杜市〉



鏢(つば)と柄頭(つかがしら)に見事な象嵌(ぞうがん)がみられます



長さ69cm  
**円頭大刀(えんとうたち)** 県指定文化財  
〈稲荷塚古墳 甲府市〉